

蕨歴史ヒストリア 市民が語る蕨の歴史

【団体名】笑楽日塾

【担当部署】総務部 政策企画室

【提案型】指定テーマ

1. 事業の目的

蕨市市制施行60周年を機とし、子どもも大人も蕨市への愛着を深め、外へ行ってふるさと蕨に誇りを持って話し、蕨の明るい未来を思い描くことができるようにするために、その基本となる蕨の歴史を学ぶ機会とする。

2. 実施内容

講演とシンポジウムの開催

日時：令和元年8月12日 午後1時30分～

会場：文化ホールくるる

参加者数：180名

内容：3名の講師によるそれぞれのアプローチからの蕨の歴史にまつわる講演と、さらに3名のパネリストを含めた6名によるシンポジウムの開催。なお実施にあたり、講演記念誌を作成し、来場者へ配布した。

講演内容

第一部 『蕨の発展と織物について』 双子織研究家 堀江清隆

第二部 『三和町を追ってみる』 三和町を語り継ぐ会 高松敬

第三部 『宿場から停車場へ 世界最初の新幹線電車は蕨から出発した』

鉄道専門家 荒井貞夫

令和元年度 蕨市協働事業報告書





3. 役割分担

団体：事業の企画と運営実施に関すること

市：事業の広報に関する協力、市役所内部の調整等に関すること

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 262,297円（うち蕨市協働事業補助金 239,000円）

(2) 支出の主な内容 報償費（講師謝礼）、印刷製本費（記念誌作成）、使用料（会場借り上げ料）等

5. 協働による効果

市民が蕨の歴史を知り、郷土への愛着を深め、蕨に誇りを持ち、蕨の明るい未来づくりへの意欲を高めることができた。協働事業として実施することで、広報等も市と連携して効果的に実施され、満員の来場者となった。また市としても60周年にふさわしい記念事業を実施することができた。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

この「講演&シンポジウム」は、蕨市市制施行六十周年を記念する事業として蕨市の協働提案事業に採択され実現いたしました。本件を陰からずっと支えてくださった人たちがおります。それは蕨市の市民活動推進室、それから蕨市の政策企画室、こういう人たちが私どもド素人を相手にして、これだけ立派な講演会とシンポジウムを指導してくださいました。ここに市役所の汗をかいていただいた人たちに厚く御礼申し上げます。

【担当課より】

市制施行60周年の事業として、非常に魅力的な事業を実施することができ、60周年記念事業全体を通じて一つの重要なイベントとなった。内容の濃密さと満員の参加者は、実施団体のこの事業に向けての大変な尽力によるものである。